

# お母さんの貧血が 赤ちゃんの胎盤の重さに影響する？

「妊娠初期のヘモグロビン値と胎盤重量/出生体重比の関連性」より

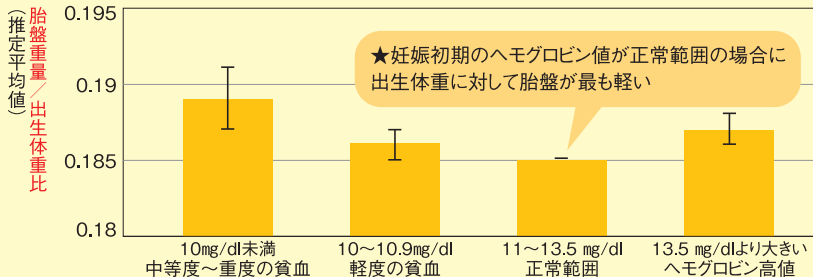


高知大学医学部 環境医学教室  
特任助教/小児科医師/医学博士

満田 直美先生



## ▶「妊娠初期のヘモグロビン値」と「胎盤重量/出生体重比」の関係



### 妊娠初期のヘモグロビン値

- 胎盤重量/出生体重比の推定平均値は、妊娠中の体重増加、妊娠前BMI、母親の年齢、妊娠中の喫煙、妊娠中の飲酒、分娩歴、採血時期、貧血治療の有無で調整。
- グラフ中の縦線は95%信頼区間 (95%の確率で真の値が存在する範囲)を示す。

### ヘモグロビンとは？

血液中中で体中に酸素を送る働きをしている物質で、貧血の指標となり、妊娠中には赤ちゃんに酸素を運ぶ大切な役目をしています



妊娠初期のお母さんのヘモグロビンの値(貧血の程度)と胎盤重量/出生体重比(胎盤の重さ÷出生体重)の関連性について検討しました。その結果、ヘモグロビン値が正常範囲のお母さんのグループが最も胎盤重量/出生体重比が低いことが分かりました。出生体重に対して胎盤が軽いということから、効率がよい胎盤である可能性が考えられます。一方で、ヘモグロビン値が低いお母さん、あるいは過剰に高いお母さんでは、正常範囲にあるお母さんに

くらべて、どちらの場合も胎盤重量/出生体重比が大きくなっていました。胎盤重量/出生体重比の値は大きいほど、赤ちゃんの出生体重に対して胎盤が不釣り合いに重いということになります。その仕組みは明らかではありませんが、胎盤がサイズを大きくすることで、機能の低下をおこなっている可能性があると言われてしています。女性に多い貧血ですが、妊娠前から貧血を予防し早めに治療しておくことが大切です。